

赤羽NOW

あかば・ナウ

号外
2005.1.17
発行

衆議院議員
赤羽かずよしの国会報告



〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通7-1-1-4F
Tel.078-512-3177 Fax.078-512-3178

兵庫2区
(長田区・兵庫区・北区)

大地をえぐり
根こそぎ破壊された
アジアのリゾート地!!



2005.01.01.12:57

阪神・淡路大震災の経験から、現場の正確な情報をいち早くキャッチすることがまず第一と公明党の同僚とともに、大津波が大地をえぐり、樹木をなぎ倒し、根こそぎ破壊された大地に立つ赤羽かずよし(カオラック)

調査団一行はプーケットに入り、各国の連絡拠点となっている市庁舎や臨時領事館談所などで救援活動の状況を調査するとともに、津波災害の発生直後から、混乱した状況の中で旅行中に被災した邦人の援助に奔走してきた日本大使館現地対策本部長やプーケット日本人会の宮下和司会長から状況を聴取した。



2005.01.02.15:57

タイ政府外務省・津波災害対策室長のイッティ大使(右)と会談



インド洋大津波に対する日本の支援に関して小泉首相に要望する党対策本部のメンバー

震災復興10年の経験を生かして被災現場へ直行!!

衆議院議員・赤羽かずよしは、12月31日から1月3日にかけて、公明党スマトラ島沖大地震・津波対策本部の「被災地現地調査団」の事務局長として、日本人被災者が最も多かったタイへ緊急訪問した。

1日、赤羽かずよしら調査団一行はプーケット島から北へ1時間ほどのリゾート地・カオラックを訪問。リゾート施設が集まるカオラックでは、休暇を過ごしていた多



2005.01.01.16:48

安否情報を求める張り紙が所狭しと貼られていた(市庁舎ホール)

くの外国人が被災した。数10にわたって続く砂浜近くに立ち並んだコテージは、大津波によって大地がえぐられるなど根こそぎ破壊しつくされ、目の前に広がる瓦礫の山は海岸から数kmの内陸にも及んでおり、津波の規模の大きさ、破壊力の凄まじさを物語っていた。

その後、プーケット島サラシン橋のためたにある遺体集積所にて、DNA鑑定のための遺体からの皮膚の採取、ICチップの埋め込み、そして冷凍コンテナでの遺体保存作業に立会った。



2005.01.01.17:39

被災した邦人を援助してきたプーケット日本人会の宮下会長(左)から聴取

都・バンコクで、タイ政府および赤十字関係者らと相次いで会談。津波災害対策室長のイッティ大使は、タイ国内の被災状況を説明するとともに、行方不明者の救援・捜索活動に全力を尽くすことを強調した。元外相のクラセー首相顧問からは、インド洋における津波早期警報システムの確立に日本のイニシアティブを発揮されることを求められた。

また、タイ赤十字社では、救難・コミュニケーション支援局のアムナット局長と会談し、救援物資の輸送手段の確保や通信手段整備などの要望を受けた。

政党として初めて現地入りした公明党調査団が小泉首相に報告

帰国後、5日午前、首相官邸にて、小泉純一郎首相に対し、生々しい被災現場の写真を提示しながら詳細な調査報告をした上で、行方不明者の安否確認体制の強化のための自衛隊・専門家の増派、感染症予防や心のケアのための医療チームの派遣、現地で邦人家族の対応に尽力している日本人会への経済的支援そして、日本のリーダーシップでインド洋沿岸諸国における津波の早期警報システムを確立すること等を要望した。

これに対し、小泉首相は、公明党が他の政党に先駆けていち早く現地調査したことを高く評価するとともに、「大変な災害であり、日本がイニシアティブを取り、まず5億ドルの無償援助を行うとともに、できることは何でもやりたい」と表明。さらに、18日から神戸市で開催される国連防災世界会議に自ら出席し、日本が災害復興・津波早期警報システムの確立にリーダーシップを取っていく考えを示した。

復興10年!! 素晴らしき神戸を!!



衆議院議員
赤羽 かずよし

阪神・淡路大震災から満10年の月日が経過しました。1.17を迎えるにあたり、多くの犠牲を払って学んだ数多くの教訓をどのように生かしていくか、頭を整理していたところ、スマトラ沖大地震が発生しました。

「真実は現場にあり」との思いで被災現場に急行。改めて、地球規模で人類の安全を守る仕組みを国際社会で作らなければならないことを痛感しました。

かつて衆院災害対策特別委員長として誘致に尽力した国連防災世界会議が1月18日から神戸で開催され、復興10年の教訓が神戸から世界に発信されます。

同時に、私は、一番大事で、一番大好きな地元神戸を、誰もが訪れてみたいくなり、住んでみたいくなる「素晴らしき神戸」建設に出来る限りの汗をかいて参ります。



赤羽ビジョン① 経済再生・雇用増大の街・神戸へ!

- **神戸空港2006年2月16日正式オープン!**
日本航空、全日空、スカイマーク各社、続々参入表明。
人・物・情報の新しい神戸の玄関口に。
- **スーパー中枢港湾の指定決定。神戸港湾の再生!**
アジアの各港に負けない国際競争力を回復し、神戸港を西日本の物流の大拠点に再生。
- **先端医療産業都市構想の着実な推進!**
すでに内外の企業78社が参入。
世界最先端の医療を神戸から発信し、新産業創出と雇用確保。
- **ビジット・ジャパン・キャンペーンで、国際観光都市・神戸の復活!**
有馬温泉、神戸ビーフ、洋菓子・珈琲、ファッション、六甲山からの夜景等々の神戸ブランドを堪能できる香港発の「グルメ神戸ツアー」が好評展開中。
神戸の魅力を世界に発信。
- **賑わいのある商店街・地場産業の復活!**
「街づくり三法」を見直し、兵庫区・長田区の人口が戻る住宅政策の実施。
そして、ダイエー問題の適切な処理で、賑わいのある商店街の再生を。
- **走れば走るほど安くなる高速料金の導入!**
ETCの活用で、自家用車にもマイレージ制度導入を実現。
長距離割引・夜間割引も実施へ。
- **自由貿易協定(FTA)の締結に全力投球!**
フィリピンのプリシマ貿易産業大臣と議論を詰め、締結実現に大きく貢献。
ASEAN各国との人・モノ・情報交流を活発化。



赤羽ビジョン② 安心して子育てできる街・神戸へ

- **誰でも利用できる奨学金の実現で、教育費の負担軽減!**
成績要件を撤廃し、対象学生数は、5年前の倍増の100万人の舞台に。
- **児童手当の支給対象も大幅拡大!**
3歳児未満の支給対象を小学校3年生までに拡大。
支給児童数も241万人から936万人へ。
- **保育所待機児童ゼロ作戦!**
200万人分の保育園新設・増設。
規制緩和で、駅前保育・夜間保育も可能に。
- **スポーツ振興で、健全な青少年教育を!**
神戸製鋼ラグビー部元主将の林敏之氏らと「ラグビー寺子屋」の実施で、少年ラグビーの振興を。



赤羽ビジョン③ 安心して暮らせる バリアフリーの街・神戸へ

- **駅にはエレベーターがあつて当たり前時代に!**
交通バリアフリー法を制定。2010年までに、一日の乗降客5000人以上の駅全てにエレベーター設置へ。
この5年間で、全体の58%にあたる1,149駅に設置。
JR・兵庫駅、新長田駅、元町駅、新神戸駅、神戸駅、阪急・三宮駅、北神急行・谷上駅、神鉄・北鈴蘭台駅、西鈴蘭台駅、岡場駅、田尾寺駅、神鉄道場駅に設置。
17年度中に神鉄・湊川駅にも設置予定。

